

## SNSに気を取られない

# 福

岡県田川市で42歳の男性が女子大生（22歳）の運転する車にはねられ、側溝に落ちて溺死しているのが発見されました。女子大生は「SNSにメッセージが入ったのでスマートフォンで返信操作をしながら運転していた」と話しています。最初は電柱が何かに当たったと思っただけと供述しているのですが、衝突するまで全く前を見ていなかったと思われま

このように、運転中にスマートフォンを脇に置いてSNSツールを確認していると、長時間のわき見運転に陥り、交通事故を起こす危険が非常に高くなります。いつも即座にSNSの返信をする癖のある人はとくに要注意です。テキストの入力には時間がかかり、その間全く前を見ないで運転することになるからです。こうした「ながら運転」は昨年12月以降激増化され、違反の罰則は1年以下の懲役または30万円以下の罰金となり、死亡事故を起こした場合では懲役3年以上の実刑も珍しくありません。運転中はスマートフォンなどの携帯端末は、見ないよう心がけましょう。

## =秋の健康診断・インフルエンザワクチン接種について=

**10/19 (月) ~11/21 (土) の間に受診して下さい。期間内に出来ない場合、自費にて受診となります。必ず期間内に受診するようお願いします。**

# 去

すべての年代で運転中の体調異常に気をつけよう

る9月16日午前9時20分ごろ、神奈川県座間市の県道で大型トラックがセンターラインを越え、反対車線に停車中のトラックに衝突、大型トラックにいた46歳の運転者が死亡しました。衝突されたトラック運転者に怪我はなく、亡くなった運転者の死因は衝突ではなく、運転者の疾病か突然の体調不良に原因があるのではなかろうかとみられ、遺体を解剖して調査中です。運転中の健康異常に起因する事故の多くは高齢者が起こすというイメージを持っている人がいるかもしれませんが、トラックやバスなど事業用自動車の運転者では働きの年数代にも多発しています。国土交通省が調べた事業用自動車の健康起因事故における年齢層別データ(※)によると、トラックでは20歳代が2.0%、39歳代が6.1%、40歳代が29.6%、50歳代が39.8%、60歳以上が22.4%であり、運転者全体の年齢分布と比べると40~60歳代に頻度が高くなっています。一方、バスでは20歳代が6.3%、30歳代が20.3%、40歳代が38.5%、50歳代が26.0%、60歳以上が8.9%であり、運転者全体の年齢分布とあまり変わらず、すべての年代で同様に発生しています。誰でも、過労や体調異常など健康上の問題で事故を起こす危険があることを自覚する必要があります。健康起因事故は運転者個人の悲劇だけでなく、多くの人を巻き込む危険があります。体調が悪いときは無理をしないで、運転を控えて様子をみましょう。

10月1日より新休憩室（2階）使用が開始されます。以下の点に留意し、有効活用して下さい。

利用時間は9：00～17：00

入室した時間、体温を入室表に記入し、また退出時間も記入。

定員は9名

うがい・手洗い・アルコール消毒・マスクの着用を徹底する。

体調が悪いとき無理は禁物です！

